

職場紹介

企画指導部 普及課

普及課では、林産試験場の研究成果を道内の企業等に使っていただくことや、道民のみなさまに研究内容や木材の良さを紹介する業務を行っています。

●研究成果の普及

(1) 刊行物等の発行

林産試験場の研究成果を、「林産試験場報」と「林産試験場研究報告」に掲載・発行しているほか、一年間の業務内容を「林産試験場年報」に整理し発行しています。

また、必要に応じてテーマごとに取りまとめたマニュアル等の印刷物を発行し、重点的な研究成果の普及を行っています。



左：カラマツ活用ハンドブック（平成17年3月発行）、
右：木造建築のためのスパン表（平成18年3月発行）

(2) 研究成果発表会の開催

林産試験場の研究成果を企業等のみなさまにお知らせするため、毎年4月に「研究成果発表会」を開催して、前年度の研究成果を中心に口頭発表、展示発表、実演等を行い、新たに開発した木材利用技術等を広く紹介しています。

(3) 各種イベントの開催及び出展

道民に木材の良さや木材利用への理解を深めてもらうための普及活動として、各種のイベントを開催しています。

なかでも、毎年学校の夏休み期間中に開催している「木のグランドフェア」では、木工工作や研究内容を用いたゲームなどをおとして、木の良さや科学のおもしろさを体験していただいています。



「木のグランドフェア」の様子

また、全道の小中学生を対象にした「北海道こども木工作品コンクール」を開催しているほか、道内各地で行われる様々なイベントに出展しています。

(4) インターネットを利用した普及

林産試験場のホームページでは、広報誌「林産試だより」を毎月発行しているほか、各種刊行物やマニュアル等のダウンロードによる提供、開発製品の紹介、特集記事、イベント情報等の提供を随時行っています。

「林産試だより」については、更新情報を「林産試速報」として希望者にメール配信しています。

また、「林産試験場報」など過去に発行したすべての刊行物について、検索し全文閲覧できる刊行物データベースを提供しており、重要なコンテンツのひとつとなっています。

●企業等への支援

普及課では木材産業等への技術支援として次の業務を行っています。

①受託研究 ②依頼試験 ③設備使用 ④技術指導 ⑤技術相談 ⑥場内見学 ⑦技術研修

まずは、普及課へご相談下さい。電話、電子メール、文書、面談により対応しています。

●「地域に根ざした研究・普及サイクルのシステムづくり」事業

各支庁（林務課、森づくりセンター）と連携して、技術交流会の開催や企業等への巡回調査を実施することで、林産試験場で開発した技術や製品を各地域で普及すると同時に、その地域の企業、団体などのニーズを把握し、研究業務に結びつけています。

●「木と暮らしの情報館」

林産試験場の構内にある「木と暮らしの情報館」は、一般に開放している展示施設です。道内企業で制作された木製品・建材・建具・エクテリア・クラフト製品などをご覧いただけます。

また隣接するログハウス「木路歩来（コロポックル）」では、木製遊具を設置して子どもたちに楽しんでもらうほか、木育文庫（絵本コーナー）を新設し、木材に囲まれた空間での、夢の広がるひと時を提供することで、木の良さへの理解を深めていただいています。